

土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 設計「水路工」（平成 26 年 3 月版）の正誤内容

(平成 29 年 6 月分)

ページ・行	誤	正
p.475 下 1 行目	iii コンクリート矢板の継手効率は 1.0 とする。	iii <u>コンクリート矢板及びハット形鋼矢板</u> の継手効率は 1.0 とする。
p.477 上 8～9 行目	許容変位量は、周辺に与える影響等を考慮し定めるものとするが、一般には表 -8.1.16 の値を目安とする。	許容変位量は、周辺に与える影響等を考慮し定めるものとするが、一般には表 -8.1.16 の値を目安とする。 <u>また、地震時許容変位量については、常時の値を 1.5 倍割り増した値とする。</u>